

(定 例)

(報告： 平 野)

山 (山域・ルート) **皇 海 山** (皇海橋から皇海山往復)

【日時】 2011 年 8 月 28 日

【メンバー】

平野幸 (P&L)

田中、松田、小川、後藤

蓑島、平野美、石川

(計 8 名)

【行動記録】

皇海橋 ..... 10:23 発 ..... 15:25 着

..... ↓ ..... ↑  
中間点 ..... 11:13(10) 14:33(10)

..... ↓ ..... ↑  
稜線のコル 11:57(13) 13:54(10)

..... ↓ ..... ↑  
皇海山山頂 13:00 着 → 13:20 発 ..... ( ) 内は休憩時間 (分)

上り : 2 時間 37 分 下り : 2 時間 5 分

【装備・食料等】

共同装備 : ツェルト 3 個

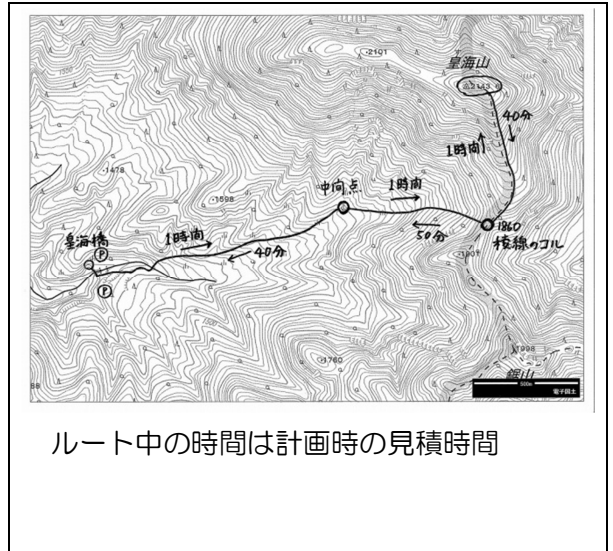
個人装備 : 携帯電話、ヘッドランプ、雨具、防寒具、コンパス、地図、救急薬

個人食 : 昼食、行動食

【感 想】

登山口までのアプローチは、未舗装の林道で普通の乗用者ではたびたび車体の底を擦った。出来ればオフロードタイプの車で行った方が良い。登山口から中間点と稜線のコルの中間までは沢沿いの道で急な登りはない。そこから稜線のコルまでが皇海山の登山道の中で最大の急登であり雨上がりだったため滑りやすかった。

稜線のコルからは鋸山の山頂が木々の間から見える。稜線のコルから山頂までは湿った薄暗い林間の陰湿な登山道である。山頂には木が多く視界が遮られているため山頂から眺望は望めない。なぜこの山が日本百名山になったか疑問を感じると共に、「また登りに来たい。」と思える山ではなかった。



ルート中の時間は計画時の見積時間